



和歌山県白浜町

白浜町役場
 担当課: 民生課福祉係
 〒649-2211
 ☎0739-43-5702 FAX0739-43-5661
<http://www.town.shirahama.wakayama.jp/>
 Eメール: minsei@town.shirahama.wakayama.jp

本町データ

(1)面積 201.02km² (平24.4.1)

(2)人口 (人)

35国調	12国調	17国調	22国調	平24.9.31住基
25,707	24,563	23,642	22,696	23,201
65歳以上人口比率(22国調)				30.9%

(3)世帯数

35国調	12国調	17国調	22国調	平24.9.31住基
5,853	9,823	9,613	9,616	11,222

(4)産業構造(就業人口) ※合計は「不詳」も含む(内訳は合計と一致しない)

	45国調	17国調	22国調
1次	2,685	792	653
	19.4%	7.2%	6.5%
2次	2,264	1,980	1,728
	16.4%	18.1%	17.2%
3次	8,867	8,166	7,639
	64.2%	74.5%	76.2%
合計	13,822	10,964	10,045



本町の概要

(1)地勢

白浜町は和歌山県の南部に位置し、大きくは紀伊水道に面した半島地域、富田川下流域及び日置川流域に分かれます。面積は県全体の約4.3%を占めます。年間平均気温は17.2℃、年間日照時間は2,047時間となっており、温暖で明るく過ごしやすい気候です。森林が全体の約81%を占め、北西の半島部に市街地が形成され、南部では海岸地域まで山地がせまり、海岸、河川流域、谷間部に集落が点在しています。町域には田辺南部海岸県立自然公園、熊野枯木灘県立自然公園、大塔日置川県立自然公園が含まれるなど、豊かな自然環境に恵まれた地域です。



(2)町のあゆみ

半島部に位置する白浜温泉の歴史は古く、愛媛県の道後温泉、兵庫県の有馬温泉と並んで日本の三古湯に、また西の別府、東の熱海と並んで日本の三大温泉地に数えられています。飛鳥・奈良朝の時代から「牟婁の温湯」「紀の温湯」の名で知られ、斉明・天智・持統・文武天皇をはじめ、多くの宮人たちが来泉された1,300年余の歴史を持つ由緒ある温泉観光地です。

明治22年の町村制実施によって「瀬戸鉛山村」と呼ばれ、昭和15年の町制施行により「白浜町」と改め、昭和30年に南富田村、昭和33年に富田村及び田辺市堅田町と才野町を編入合併、平成18年3月1日に日置川町と合併して新「白浜町」となり現在に至っています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

白浜町は、断崖絶壁の名勝地と知られる「三段壁」での投身自殺予防対策を起点に取り組んでいます。例えば、三段壁に様子が不穏な方がいれば、お土産屋の店主から消防や警察に連絡が入ったり、夜中に三段壁へ行ってほしいと言われたタクシー運転手が気を利かせて白浜バプテスト教会や警察へ連れて行ったり、白浜バプテスト教会で保護され共同生活をされている方の自立支援を行政と共同で行ったりと、三段壁での活動を通して民間、行政、地域が一体となって自殺対策に取り組んでいます。これまでの活動を通して形成された民間、行政、地域の連携を活かし、白浜町民に対しての自殺予防対策にもより積極的に取り組んでいきたいと考えております。

<具体的な取組み>

(1)「いのちの電話」と「レスキューネットワーク」

昭和54年4月19日白浜バプテスト教会の江見太郎牧師によって、「いのちの電話」の看板が三段壁に設置され、「白浜いのちの電話」が開始されました。その活動は後任の藤藪庸一牧師に引き継がれ、平成17年、任意団体「白浜レスキューネットワーク」を立ち上げ、人の輪、活動の輪を広げる取り組みが始まりました。平成18年5月に「NPO法人白浜レスキューネットワーク」を設立、日夜精力的に自殺防止対策に取り組まれています。



(2) 自殺防止対策会議

自殺防止対策を進めるため、平成21年1月から関係機関が集まり、「自殺防止対策会議」を開催し自殺防止対策について協議を行っています。

【構成】

- ・白浜町(総務課・民生課・観光課・消防本部)
- ・白浜警察署
- ・和歌山県(障害福祉課・精神保健福祉センター・西牟婁振興局)
- ・NPO法人白浜レスキューネットワーク



(3) 三段壁周辺合同パトロール

平成20年に三段壁投身自殺者が急増し、平成21年2月から関係機関による合同パトロールを実施しています。今後も経済不況の影響等から自殺者は増加すると予想されることから、継続して実施します。

【実施日】 毎週 水曜日・木曜日

【時 間】 冬期:午後4時30分～5時30分

夏期:午後5時～6時

【要 領】 三段壁駐車場から岸壁周辺の範囲を徒歩でパトロールし、自殺企図者の発見、保護することを目的としています。パトロールに際しては、特に1人での観光客に対して声かけを行っています。



(4) 三段壁防護柵の設置

従来、三段壁は自然の景勝地であることから、景観を妨げる人工物の設置は極力控えていましたが、平成21年度自殺防止のための防護柵を設置しました。



(5) 地域自殺対策緊急強化基金活用事業

平成21年度から基金を活用した自殺防止対策事業の取り組みを進めています。

【対面型相談支援事業】

- ・白浜町社会福祉協議会に委託し、司法書士等の専門職による多重債務相談窓口を開設
- ・白浜はまゆう病院、南和歌山医療センターに委託し、臨床心理士による無料カウンセリングを実施

【人材養成事業】

- ・パトロール員養成講座の開催
- ・先進地視察(山梨県富士河口湖町・秋田県八峰町・宮城県仙台市・沖縄県国頭村、読谷村)

【普及啓発事業】

- ・FMビーチステーション白浜放送利用による自殺防止に関する啓発
- ・啓発グッズやパンフレットを作成し、街頭啓発や役場窓口等で配布
- ・町民向け自殺予防講演会、婦人会向け健康教室、中学生向け講演会の実施
- ・民間団体と共催による自殺対策強化月間イベントの開催

【強化モデル事業】

- ・三段壁自殺対策事業の実施(パトロール車の購入、青色防犯灯の設置、注意喚起看板の設置など)
- ・NPO法人白浜レスキューネットワークに委託し、三段壁のパトロールを強化



(6) 三段壁投身者(身元不明者)供養・無縁者之慰霊碑及び遺骨埋葬所の設置

三段壁から投身された方並びに身元不明の方のご冥福をお祈りするため、町職員有志が関係者に呼びかけを行い、平成9年から毎年8月に投身者(身元不明者)供養を行っています。また、平成21年度において町営共同墓地近くに埋葬所と慰霊碑が完成しました。斎場に安置されている身元不明者の遺骨は、一定年限経過後この埋葬所に移管しています。

